

お父さんお母さんへ
ぼくをいやな気持ちにさせないでください

離婚した両親への手紙

リム・ヒュイミン作 野沢慎司訳

DEAR MOM AND DAD,
DON'T MAKE ME FEEL BAD
A Child of Divorce Speaks Up

Hui Min Lim



お父さん

お母さんへ

ほくそいやな

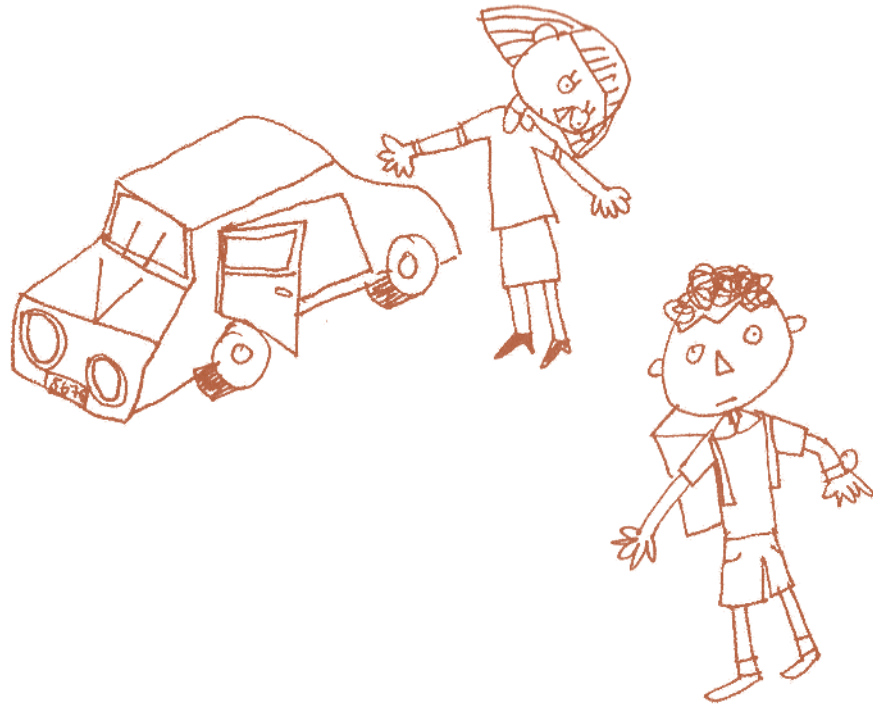
気持ちに

せなかで

ぐんぐん

離婚した両親への手紙





はしがき

親の離婚は、子どもたちに混乱や悲しみ、そしてときにトラウマをももたらすことがあります。この本が、親の離婚を経験する子どもたちの思いや気持ちに親の皆さんが気づく手助けになれば幸いです。子どもたちの声に耳を傾け、気づかひの眼差しを向け、救いの手を差し伸べて、この困難な時期をうまくのりきれるよう、家族が力を合わせてほしいと願っています。



けんてい ことば
献呈の言葉

もう互いの目を見つめ合うことさえできない両親だけど
それでもやっぱりこの場に
一緒に登場してくれないかなあと願ったことがある
すべての子どもたちにこの本を捧げます

もう自分たちは同じ場面に登場しないし
同じ筋書きを生きているわけではないけれども
自分たちの別々の人生のどちらにも
子どもの物語のつづきが必要だと理解できる
すべての親たちにこの本を捧げます

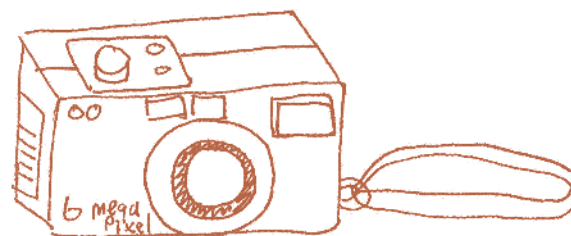




お父さんお母さんへ
2人が別れたこと、わかっています。

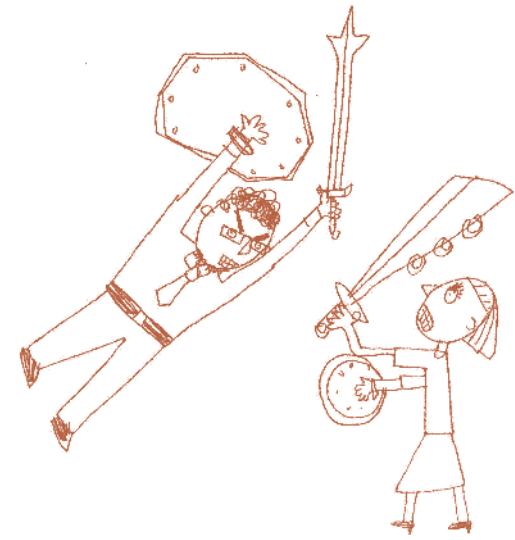
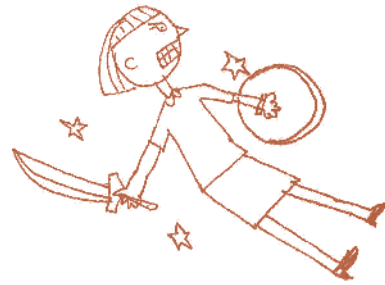


それでもぼくは、
お父さんとお母さんの子どもです。

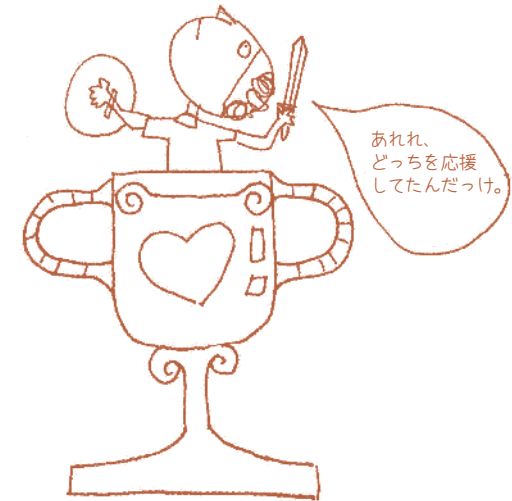




だけど、ほくにいやされたいなんて
思わないでください。



ぼくは、カウンセラーじゃないし、
味方でもないし、賞品でもないです。



そういうのが必要なら、
ぼくのような子どもじゃなく、
おとなの人にたのんでください。



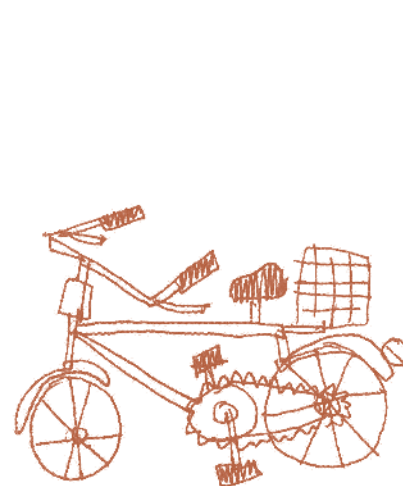
セラピスト



弁護士

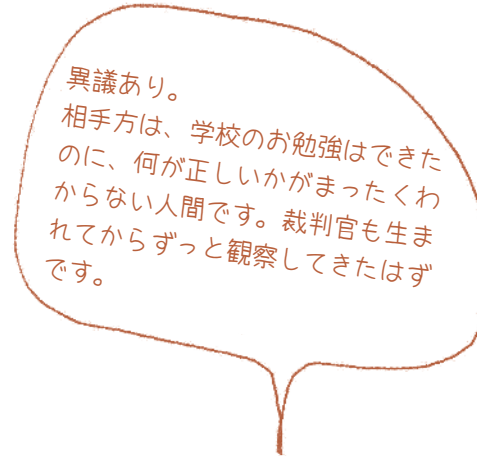
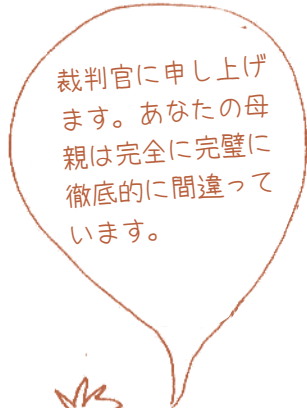


学校の先生



おとなの友だち





お願いです。
ぼくの前でケンカをしないでください。
どっちが正しくてどっちがまちがいかなんて、
ぼくにはどうでもいいことなんです。



お父さんが言ったことやお母さんが書いたことを、
ぼくに話さないでください。
ほんとにけちなんだ、あの男とか、
ほえかかるんだよ、あの女とか。



1. お父さんは新しい彼女をあなたに会わせたの？

はい ()

ほんのちょっとだけ (○)

2. どんな人だった？

きれいでやさしそう ()

ふつう (○)

3. 彼女を気に入った？

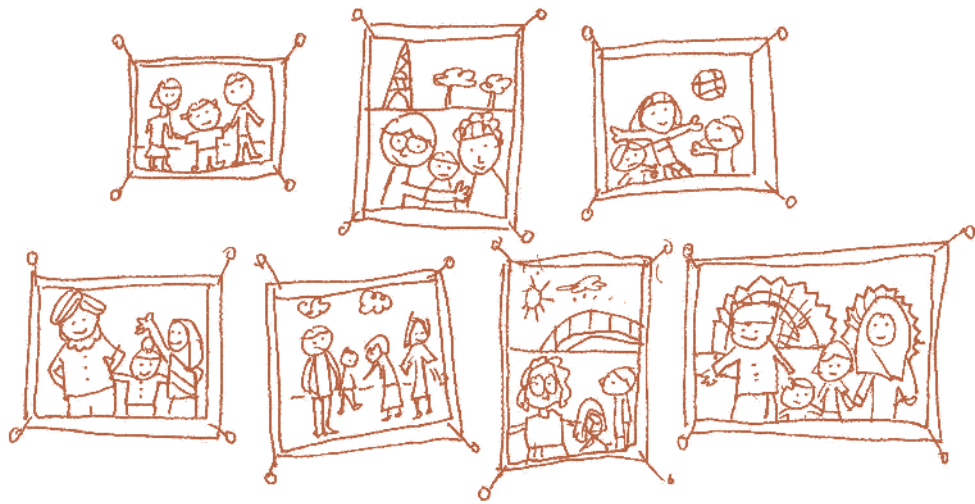
はい ()

まあまあ (○)



「向こう」のこと、
いろいろきくのはやめてください。





2人が別れてからずっと、
ぼくはぐらぐらで、へとへとなんです。

ぼくのお父さんと
お母さん、どうし
てよそんちみたい
にいっしょに写真
とれないのかな。





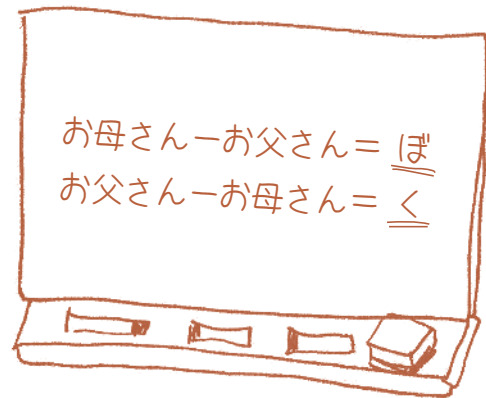
あの人、あなたにだけは知られたくなかったのよね。
 あいつには家族への愛なんてまったくないんだ。もう帰ってこないよ。
 あの人はお金があればぜんぶ使っちゃう人なの。
 ほんとむかつく。

あいつが言いたいことは、お金、お金、お金、それだけ。
 あいつはいつも上から目線なんだよ。
 あの人、別な女の人が好きになっちゃったのよ。もう何もかも忘れたい。
 あいつはおまえの世話をするのがずっと嫌だったんだよ。
 あの方は私たちを見捨てたのよ。
 あいつは僕を破産させたいんだ。

自分でもなんであいつなんかと結婚したのか謎だよ。

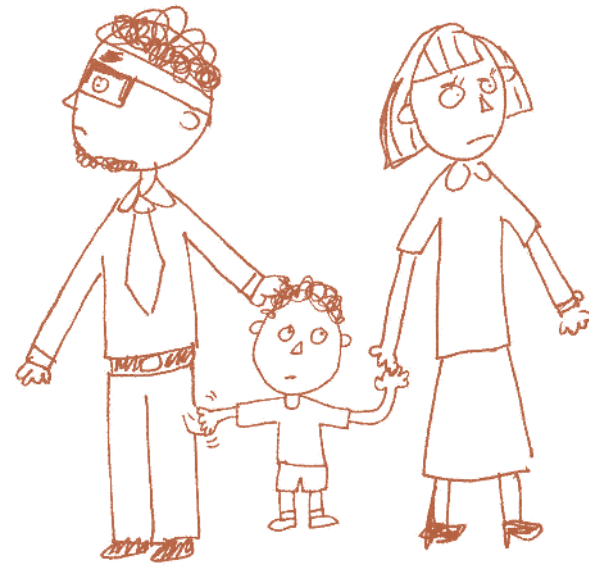
あの方は私たちが飢え死にしてもまったく気にしない人なのよ。

ぼくがいるときは、
 相手の悪口を言わないでください。
 そのときのこと考えただけで、
 心の中がぐるぐるうずまきになります。



だってぼくはどちらか1人からじゃなくて、
2人から生まれたからです。
お父さんとお母さんを足し算した答えが
ぼくなんだと思います。

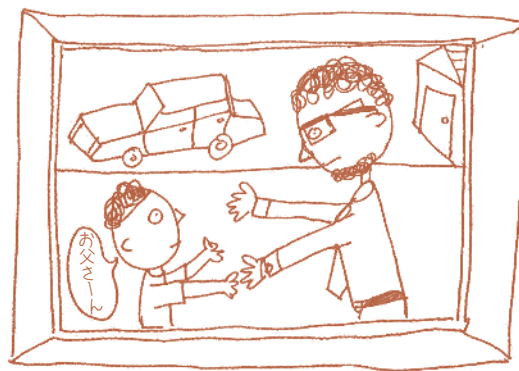




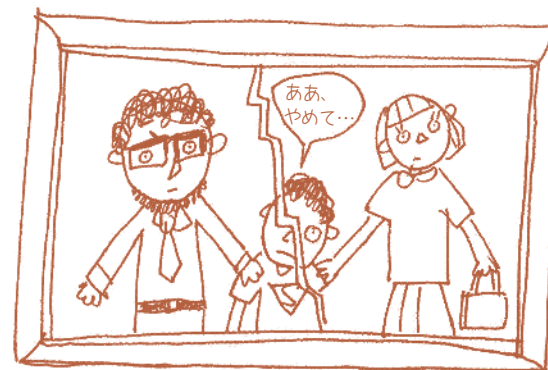
友だちどうしになれないのなら、
せめて敵どうしにはならないでください。
思っていることを言わなくても、
2人の子どもだからわかります。

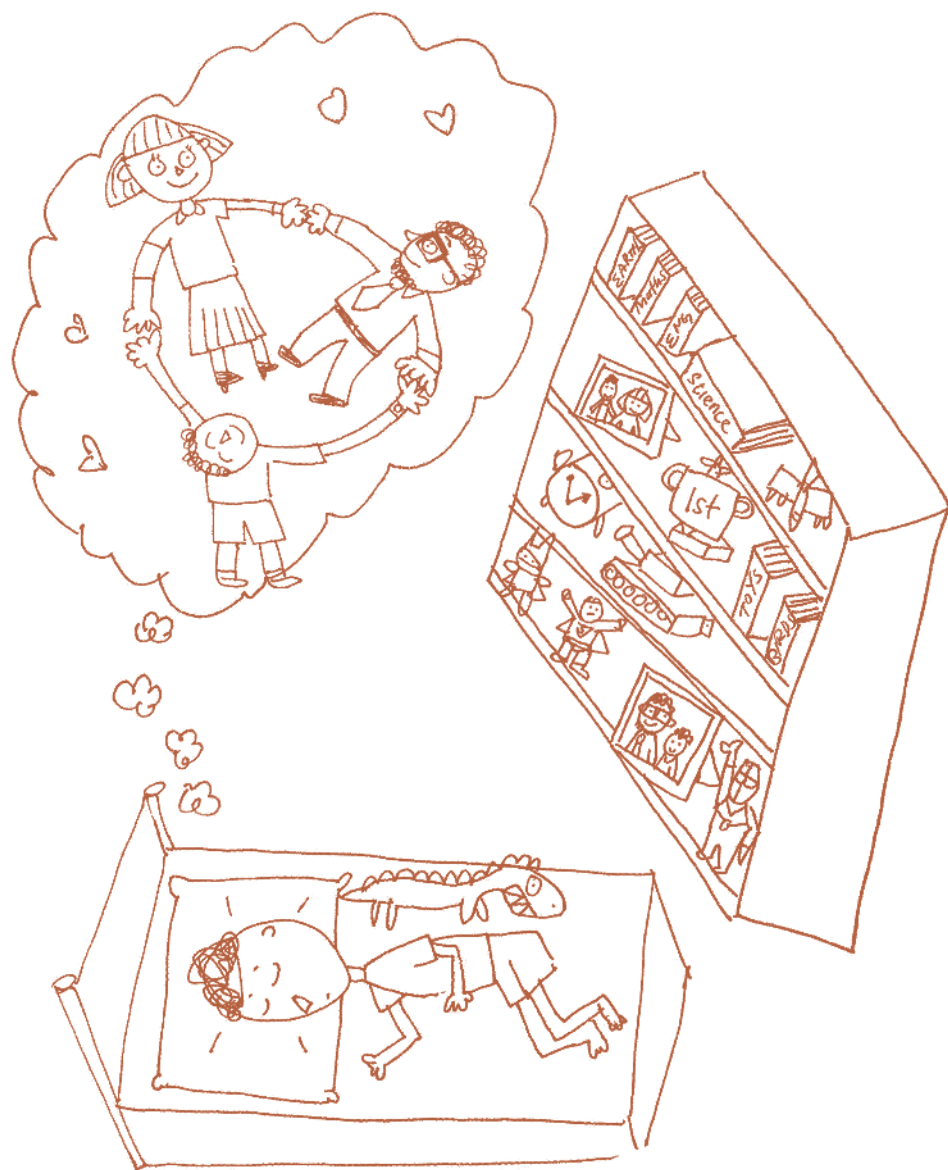


声を聞けばわかります。
目を見ればわかります。
うで組みしてごまかそうとしても、
にくらしいと思っているのがわかります。

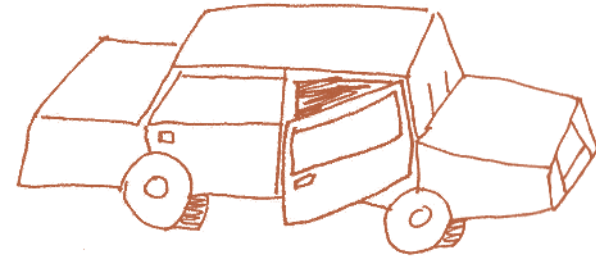
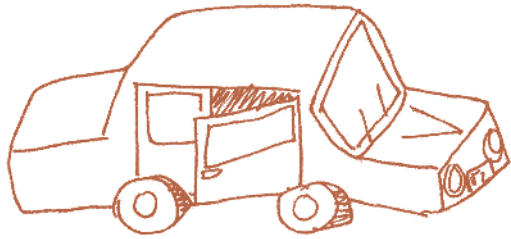


ぼくのためにいっしょにいるのは
もうやめたんですよね。
もうおたがいに自由になったんですよね。
だったら、もうちょっとだけ仲よくできませんか。
(このぼくのために?)





ぼくの本だなに、
2人の写真、両方かざりたいんです。



お母さんー お父さん



ぼくの中の半分を悪く言わないでください。
ぼくをいやな気持ちにさせないでください。



お父さんー お母さん

= ぼ + く = ぼく !

お父さんも

お母さんも大好きです。

2人の子どもより



著者について

著者のリム・ヒュイミン (Ms. Hui Min Lim) は、シンガポールにおいて、個人開業の専門家として、また行政長官、治安判事、地方判事、司法官として、長年にわたって家族法・少年法分野の仕事に従事してきた。彼女は、児童向けの本や詩を読むのがとりわけ好きで、趣味として執筆もしてきた。自閉症についての児童書（共著）のほか、著書 *Juvenile Justice: Where Rehabilitation Takes Place* (『少年司法——リハビリが行われる場所』) など家族法・少年法に関する多数の著述がある。

イラストはすべてタン・ウィルキー (Wilkie Tan) による。

訳者について

翻訳者の野沢慎司は、家族社会学や社会的ネットワーク論を専門にしている研究者で、現在、明治学院大学 社会学部 教授。長年にわたり、親の再婚を経験した子どものいる家族「ステップファミリー」の研究に取り組んでいる。著書に『ネットワーク論に何ができるか—「家族・コミュニティ問題」を解く』（勁草書房／単著）、『ステップファミリーのきほんをまなぶ—離婚・再婚と子どもたち』（金剛出版／共編著）などがある。

お父さんお母さんへ ぼくをいやな気持ちにさせないでください
離婚した両親への手紙

2019年1月3日発行
作 リム・ヒュイミン (Hui Min Lim)
絵 タン・ウィルキー (Wilkie Tan)
訳 野沢慎司 (Shinji Nozawa)

発行者 日本離婚・再婚家族と子ども研究学会
〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 茨城大学人文社会科学部 野口康彦研究室
<http://www.jarcds.org/>
Published by the Japanese Association for Research on Children of Divorced Families and Stepfamilies

日本語版デザイン 緒倉珠巳

Japanese text © Shinji Nozawa 2018

Dear Mom and Dad,
Don't Make Me Feel Bad
A Child of Divorce Speaks Up

Copyright © 2017 Ministry of Social and Family Development, Singapore

The original book in English was produced and published by the Ministry of Social and Family Development (MSF), Singapore.



本書の内容を無断で複写・複製・転載すると著作権の侵害になります。